

# 平成25(一部)・26・27年度宝塚市子ども委員会 意見書への対応状況について



初版 平成29年(2017年)3月  
第二版 令和2年(2020年)3月

宝塚市

# 目次

## 平成25年度

|                                 |     |          |
|---------------------------------|-----|----------|
| <b>グループ ラッキーCity宝塚 「まちの活性化」</b> | ・・・ | <b>1</b> |
| 光明小学校                           | 6年  | 奥田 陽人    |
| 宝梅中学校                           | 1年  | 大泉 陽路    |
| 宝梅中学校                           | 1年  | 隅 颯太     |
| 小林聖心女子学院中学校                     | 2年  | 永井 莉央    |

## 平成26年度

|  |     |          |
|--|-----|----------|
| <b>1 グループ 和の町宝塚 「平和の推進」</b>              | ・・・ | <b>2</b> |
| 長尾南小学校                                   | 5年  | 河原 遼     |
| 大阪教育大学附属池田小学校                            | 5年  | 畑野 滉太    |
| 売布小学校                                    | 6年  | 前田 智弘    |
| 長尾中学校                                    | 1年  | 柏原 隆希    |
| 長尾中学校                                    | 1年  | 宮本 侑昂    |
| <b>2 グループ COLORFUL☆宝塚 「輝く町宝塚にするためには」</b> | ・・・ | <b>5</b> |
| 宝塚第一小学校                                  | 6年  | 廣田 大和    |
| 高司小学校                                    | 6年  | 依光 巧磨    |
| 宝塚第一中学校                                  | 1年  | 奥田 陽人    |
| 南ひばりガ丘中学校                                | 1年  | 河原 葵衣    |
| 中山五月台中学校                                 | 1年  | 田中 愛実    |
| 親和中学校                                    | 2年  | 前田 沙菜    |
| 報徳学園高等学校                                 | 1年  | 橋本 泰樹    |

## 平成27年度

|   |     |           |
|---|-----|-----------|
| <b>1 グループ THEすみれシャンメリー 「すみれシャンメリーを名産品にするには」</b> | ・・・ | <b>7</b>  |
| 長尾南小学校  | 6年  | 河原 遼      |
| 山手台小学校  | 6年  | 辻野 壮亮     |
| 宝塚中学校   | 1年  | 佐々木 健太    |
| 宝塚第一中学校   | 1年  | 田村 安里華    |
| 中山五月台中学校  | 2年  | 田中 愛実     |
| 長尾中学校   | 2年  | 廣瀬 健汰郎    |
| 親和女子中学校   | 3年  | 前田 沙菜     |
| <b>2 グループ 秋夏 「活気のある宝塚にするためには」</b>               | ・・・ | <b>10</b> |
| 長尾小学校   | 5年  | 下村 栗子     |
| 宝塚中学校   | 1年  | 前田 智弘     |
| 山手台中学校  | 3年  | 秋田 麻衣     |
| 宝塚第一中学校   | 3年  | 板谷 溪菜     |
| <b>3 グループ 子ども観光大使 「観光客を増やすためには」</b>             | ・・・ | <b>12</b> |
| 安倉北小学校  | 5年  | 植田 耀仁     |
| 末広小学校   | 5年  | 鍬田 奏春     |
| 美座小学校   | 5年  | 小西 健太     |
| 宝塚小学校   | 6年  | 下方 未来     |
| 宝塚第一中学校   | 2年  | 奥田 陽人     |
| 宝塚第一中学校   | 2年  | 川口 潤      |
| 報徳学園高等学校  | 2年  | 橋本 泰樹     |

| 25  | グループ名 | ラッキーCity宝塚 | テーマ | まちの活性化 |
|---|-------|------------|-----|--------|
| 質問・提案内容（あらし）と答弁後の対応   |       |            |     |        |
| <p>質問（提案）：</p> <p>宝塚で新しくイルミネーションをすることを提案します。<br/>                     イルミネーションといえば三宮にある、「ルミナリエ」や御堂筋があります。御堂筋は全長1.9kmもあり日本一だそうです。イルミネーションにはインパクトが必要だと思います。<br/>                     そこで、宝塚駅から宝塚インターまでイルミネーションすると、およそ2.5kmになり御堂筋をこえて日本一になります。<br/>                     更に清荒神の参道を12月31日だけ除夜（じょや）の鐘（かね）のためにイルミネーションすることで話題性が生まれます。そうすることで、TVやマスコミなどで取り上げられ自然にPRすることができると思います。</p>   |       |            |     |        |
| <p>答弁：</p> <p>今回、宝塚駅から宝塚インターまでのイルミネーションや清荒神参道における大晦日（おみそか）限定のイルミネーションなど、実現すれば話題性が高く、また大勢の観光客の方々に来場いただけるような素晴らしいご提案をいただきました。観光客を増やすことは宝塚市が元気になるために重要なことであり、イルミネーションの活用も大変有効だと考えます。<br/>                     以前開催していたイルミネーションを活用したイベント「光のさんぽみち」の経験から、大規模なイルミネーションを実施するには、周辺住民やお店の方々の理解や協力が必要になります。今年は難しいかもしれませんが、来年あたりから、どこでできるのかや清荒神清澄寺や参道周辺の方々への相談も含め、ぜひとも検討していきたいと思います。<br/>                     また、宝塚で実施するのであれば、宝塚花火のように宝塚らしいと言っていたようなものが実現できればと思います。</p> |       |            |     |        |
| <p>その後の対応状況：</p> <p>皆さんが注目されたイルミネーションをはじめとして、最近では、建物に大きな映像を映し出すプロジェクションマッピングなど、光を活用したイベントは注目度が高まっています。このようなビックイベントを市内で実施してみても、皆さんをはじめとして多くの方々からもご提案をいただいていた。これらのご提案を受けて、平成28年度に花のみちイルミネーションを中心とした「宝塚アニメフェスタ2016×ハロウィン」を開催し、たくさんのお客さんに喜んでいただきました。<br/>                     一方、清荒神の参道商店街では、竹灯籠（たけとうろう）を活用したイベントを開催されるなど、活発な動きもあることから、引き続き、市内の事業者や市民の皆さまとともに協力しながら、実現に向けて検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">（観光企画課）</p>                               |       |            |     |        |

担当部課：総務部（人権男女共同参画課）、教育委員会（学校教育課、教育研究課）

| 26  | グループ名 | 和の町宝塚 | テーマ | 平和の推進 |
|---|-------|-------|-----|-------|
| 質問・提案内容（あらし）と答弁後の対応   |       |       |     |       |
| 質問（提案）：<br>小学校や中学校の社会見学で市内の戦跡（せんせき）めぐりを取り入れることを提案します。<br>修学旅行で、戦争の歴史を学ぶ前の、小学5年生や中学2年生の社会見学に取り入れ、そして、中学生は、調べ学習で市内の戦跡についての課題を出して、興味を持ってもらおうと良いと思います。宝塚の子どもたちは、少なくとも1度は、ぼくたちの町の戦争の歴史について考える機会をもつべきだと思うからです。学校での戦跡めぐりをきっかけに、このあとに提案する、子ども向けの戦跡めぐりに興味をもつ人が増えることも期待できます。  |       |       |     |       |
| 答弁：<br>修学旅行で戦争の歴史を学ぶ前の小学校5年生や中学校2年生の社会見学会に市内の戦跡めぐりを行うというのは、これから地域の歴史を学ぶことに意欲を持つことができ、大変よい案だと思います。ただ、社会科の学習については、各学年で学習することが決まっているため、社会見学は、学習内容に関連した見学になります。提案していただいたように、小学校5年生で市内の戦跡めぐりを行うことは難しい状況です。<br>しかしながら、多くの小・中学校では、修学旅行で平和について学ぶことを一つの柱として取り組んでおり、事前・事後学習として、平和についての調べ学習等を行い、戦争について深く学んでいます。学習の中で、宝塚の戦争の歴史についても学ぶことができますので、先生たちに平和を考える市内史跡・戦跡めぐりの説明資料を配布して活用してもらうようにしていきます。<br>また、小学校6年生の社会科で『地域の歴史をさぐる』、中学校の歴史的分野で『でかけよう！地域調べ』というような、身近な地域の歴史について学習する機会があります。その際、身近に残る戦争の足跡を見てまわることもできます。<br>さらに、宝塚市では、毎年、公民館が主催する『「平和」みる・きく・伝える展』を開催しており、生命の尊（とうと）さや平和の大切さを共に考え、歴史から学び、次世代に伝える場となるよう努めています。 |       |       |     |       |
| その後の対応状況：<br>教育委員会では、子どもたちがこのようなすばらしい平和への思いを持っていることを市内の幼稚園長、小中学校長が集まる会議で紹介し、各学校で、学習に取り入れることができるようお願いしました。<br>また、ひらい人権文化センターで開催している「人権わくわく学級」では、平成27年の夏に「親子平和フィールドワーク」を実施し、親子で戦跡めぐりをしました。身近なところに戦争の爪痕（つめあと）が残されていることに驚き、家でも家族で話したいという感想もいただき、戦争について学ぶ貴重な機会となりました。平成28年度は、兵庫県原爆被害者団体協議会理事長の岡邊好子さんに来ていただき、15才で被爆した体験を親子で聞かせてもらいました。「戦争は二度とあってはならない」「戦争が終わってからも苦しめる原爆は最悪だ」という子どもたちの感想とともに、保護者からも「戦争の怖ろしさを今に伝えてくれているから今の平和がある」という声も聞かれました。   |       |       |     |       |
| （学校教育課）   |       |       |     |       |

質問（提案）：

学校の先生や大人たちのための研修会を開き、ほくたちに、この町の戦争の歴史について教えてくれる人を増やすことを提案します。

戦争を体験した人や、戦争について知識のある人を公民館や学校に招いて、保護者の方や学校の先生たちに話をきいてもらい、資料や写真、動画を通して学んでもらいます。さらに、市内のさまざまな戦跡を見学し、知識を深めるといいと思います。これは、先ほどの社会見学での戦跡めぐりを実施する上で、とても重要なことです。教えてくれる人がいなければ、戦跡めぐりをするにはできません。だから、学校の先生が必ず参加できるように、研修会は土日や祝日に取り入れます。

また、戦争を体験した人々は、高齢化が進んでいるため、今話を聞いておかなければ、その貴重な体験をうけつづけることはできません。だから、研修会を開いて、子どもたちだけでなく学校の先生や大人たちが、戦争の歴史について学べる機会を作ってほしいと思います。

答弁：

学校では、平和について、道徳や総合的な学習の時間を中心に、社会科をはじめ様々な教科の中で学習していますが、提案にもありましたように、子どもたちに戦争の歴史を教える学校の先生が、もっと戦争について学ぶ機会を持つことも大切だと思います。

そこで、戦争についての体験や知識のある人を学校に招いて、平和がいかに大切であるかを語ってもらい、子どもたちが学習を深める際に、多くの先生にも参加してもらい、先生の学びの機会としていきます。

また、宝塚市に新しく採用された先生には、市内の史跡を巡る「宝塚市の風土と歴史を知る」研修会を実施していますが、その時に、戦争に関係する様々な歴史を振り返る視点も取り入れ、学校の先生の戦争への理解を深めるようにします。

さらに、学校の先生に「宝塚市の戦跡をたどる」研修会を実施し、子どもたちに戦争の悲惨さや歴史を語り継げる先生を増やしていきます。

その後の対応状況：

宝塚市民や宝塚市の学校教育を担う教職員が宝塚市の戦争の歴史を知ることは大切なことだと考えています。このため、平成23年度から平和を考える市内史跡・戦跡めぐりを実施しています。この他、平和映画会、平和アニメ映画会、平和を願う市民のつどい、平和パネル展、平和特別講演会など様々な平和事業を行い、多くの皆様に戦争や平和のことを知ってもらえるよう努めています。また、市内各学校においては、戦争体験者から講話を聴（き）く学びを通して、児童生徒や教職員の戦争の歴史に対する理解を深めるとともに、平和の大切さを再認識出来るように取組を進めました。その他、戦争の貴重な体験は、「市民による戦争体験記録集」として、平成27年3月に発行しました。

平成28年度は、これらの催しを土曜、日曜に5回開催しましたが、今後とも、学校の先生や保護者の方々が参加しやすいよう、土曜、日曜、夏休み中の開催や学校の研修事業となるよう検討していきます。

（人権男女共同参画課、教育研究課）

質問（提案）：

小、中学生にも分かりやすい、子ども向けの戦跡めぐりのイベントを市の主催で開催するというを提案します。

宝塚のゆるキャラを使って、小学校低学年にも親しみやすいように説明をします。また、宝塚の広報に案内をのせ、各学校にチラシを配り、より多くの人に参加してもらえますようにします。

そして、戦跡めぐりの感想の作文を書いてもらって、コンクールを主催し、宝塚の特産物を賞品にすることで、宝塚の戦争の歴史を知ってもらうとともに、今の平和な宝塚の良さについても知ってもらえる良い機会になると思います。

答弁：

宝塚市では、平和に関する取組の一つとして、平和を考える市内史跡・戦跡めぐりという事業を実施しています。この事業は、宝塚市内にある戦争に関連する史跡や施設を実際に見ることで、宝塚でも戦争の被害があったことを実感してもらい、平和の大切さについて改めて考えていただくことを目的に実施しています。

この事業には、大人だけでなく、子どもにも参加いただいております。今年も10人程の子どもの参加がありましたが、今後、子ども向けの市内史跡・戦跡めぐりの実施に向けて取り組めます。

実施に際しては、提案にありました各学校へのチラシの配布はもちろん、ゆるキャラの活用や、戦跡めぐりの感想文のコンクールの開催のほか、子ども向けのわかりやすいパンフレットの作成、子どもたちに参加していただきやすいような事業のネーミング等についても考慮します。

その後の対応状況：

ご提案のありました子ども向け戦跡めぐりは、平成27年8月29日にキッズ・ピース・ウォークという名称で第1回目を実施し、今年度も8月6日に開催しました。実施にあたっては市の広報紙やホームページへの掲載（けいさい）、チラシの小・中学校への配布を行い、参加者を募（つの）りました。当日は、小・中学生7人、保護者5人の計12人が参加しました。

実施後のアンケートでは、「宝塚の戦争の歴史がわかった」「特攻隊で死んでいったと考えたら悲しくなった」などの感想が寄せられました。ゆるキャラの活用や感想文コンクールまでは難しいと考えていますが、今後も楽しい催（もよお）しとなるよう工夫していきますので、皆さんどんどん参加してください。

（人権男女共同参画課）



|  |       |              |     |              |
|--|-------|--------------|-----|--------------|
| 26   | グループ名 | COLORFUL ☆宝塚 | テーマ | 輝く町宝塚にするためには |
| 質問・提案内容（あらし）と答弁後の対応  |       |              |     |              |
| <p>質問（提案）：</p> <p>手塚治虫記念館の「アニメ工房」をグレードアップし、本格的なアニメ作りができるようにすることを提案します。</p> <p>方法として、30秒以内のアニメを作れるようにします。また、効果音、色を付けられるようにします。色はたくさん種類を用意します。さらに、アニメの進行を途中保存できるようにします。なぜなら、次に来たときに続きがかけられるようになり、2回以上来てくれる人が増えると思います。</p> <p>さらに、年に1度、アニメコンテストをします。「笑い」「感動」の2つの部門を作り、その中で年齢別に審査します。審査方法は、一般の人とアニメ制作に詳しい人にしてもらいます。一般の人にはエントリーされたアニメをインターネットで審査してもらいます。優秀な人には賞を与えます。例えば、最優秀賞・優秀賞・手塚治虫賞などです。賞を取った人にはオリジナル図書カードなどの賞品を与えます。</p> <p>また、広報だからつるかやホームページなどで開催を告知し、より多くの人に参加してもらいます。</p>  |       |              |     |              |
| <p>答弁：</p> <p>現在、アニメに関しては、館内で手塚アニメの紹介や、アニメの歴史、制作方法に加え、初歩的な制作体験コーナーを設けています。特に、その体験コーナーは人気があり、できるだけ多くの方にご利用いただくために40分間の限られた工程にし、そして内容も初期のアニメづくりの原理を学んでいただくため、一般的に使われているデジタルペイント方式ではなく、紙に鉛筆（えんぴつ）でキャラクター等を描（か）いて絵を動かすという方式にしています。</p> <p>ご提案の30秒以内のアニメ作りや、効果音、色づけ等々は、アニメづくりの原理を学ぶという今のコーナーの考え方から難しく、備えている機器やソフトウェアでも対応ができません。</p> <p>今後とも、皆さんにアニメづくりと手塚作品に関心を持っていただくためにも、夏休みなどに専門のアニメーターを招いてアニメ教室を開催し、更に理解を深めていただくようにします。</p> <p>アニメの原理を学ぶことに加えて、機器やシステムの更新の中で、色づけや描く枚数を増やすことができるようにして、時間に余裕をもってチャレンジできるように検討します。</p> <p>その上で、機材や専門家の配置、レベル差等々、解決すべき点がありますが、アニメコンテストの開催について、手塚プロダクションとも相談をしてみたいと考えます。</p> |       |              |     |              |
| <p>その後の対応状況：</p> <p>もっと本格的なアニメーション体験ができるよう、宝塚大学と連携して、平成27年9月に「アニメーション体験教室」を開催しました。ペンタブレットを使って、画面に描いた自分のキャラクターに多彩（たさい）な色付けをしていき、完成後にキーボードを利用して、背景である記念館の中を探検していきます。COLORFUL ☆宝塚の提案者ご自身も参加いただき、グレードアップを実感されました。親子による参加が多く、親子間のコミュニケーションが促進されたことと思います。また、来館時にイベントの実施を知って、その翌週に再び東京からバスでお越しいただく参加者もいました。これまでになかったアニメーション体験で、アニメーションにも一層の関心を持っていただきました。</p>   |       |              |     |              |
| （手塚治虫記念館）  |       |              |     |              |

質問（提案）：

建物をスクリーンとして映像を映して、その建物が動いているように見せる「プロジェクション・マッピング」を行うことを提案します。

プロジェクション・マッピングを行うことで、フェイスブックやツイッターなどで動画がアップされて、その情報が広がり、観光客が増えると思います。

不定期でいいので、年に1度、宝塚大劇場で行うといいと思います。宝塚大劇場で行うのには、理由があります。

宝塚大劇場は、大きくて分かりやすいし、駅から近いので、みんな場所を知っているし、宝塚歌劇の来場者は、女性ばかりなので、男の人も来てほしいと思ったからです。さらに、さっきの手塚治虫記念館の提案にも活かしたいので、手塚治虫の作品を中心に映像を作ればいいと思います。

例えば、夏には宝塚観光花火大会と手塚治虫が描いた漫画（まんが）のコラボで、巨大な火の鳥を映します。また、クリスマスには「ジャングル大帝レオ」や「三つ目がとおる」など、あまり知られていなさそうなシリーズの主人公を映したり、大晦日には手塚治虫が描いた漫画の主人公が大集合する映像を映し、アトムたちと一緒に年を越したりします。

答弁：

最近、様々な場所で見かけるプロジェクション・マッピングは、大阪城のような大迫力のものから、室内での小規模なものまで種類がたくさんあります。

ご提案いただいた花火大会や宝塚大劇場など広い場所では実施するには、克服（こくふく）する課題も有り、準備に相当な時間が必要です。大規模なものをすぐには実施できませんが、アニメタウンフェスタなどの既存（きそん）事業での活用や新規事業でのイベントについても、演出の一部としてプロジェクション・マッピングの活用を検討していきます。

今後、近隣の皆様や手塚作品の著作権（ちょさくけん）を持つ手塚プロダクションと相談しながら、まちが賑（にぎ）わう楽しいイベントに挑戦していきたいと思います

その後の対応状況：

プロジェクション・マッピングと同じ「光」を活用するイベントについては、これまで「光のアート」として花のみちのイルミネーションを企画し、平成28年度（2016年度）には「宝塚アニメフェスタ2016×ハロウィン」のイベント内で実現しました。花のみちは宝塚駅から宝塚大劇場へと続く一本道ですので、観劇後のお客様をはじめ、男女問わず多くの方がイルミネーションを観にいらっしゃいました。同時に、手塚治虫記念館とも連携し、スタンプラリー企画の実施、手塚作品をイメージしたバルーンをイルミネーションに組み合わせる等、手塚治虫のまち宝塚をPRできるよう努めました。

また、令和元年度（2019年度）には、同じ「宝塚アニメフェスタ2019×ハロウィン」のイベント内で、武庫川を活用した「ウォータープロジェクションマッピング」を初めて実施しました。ウォータープロジェクションマッピングは、ポンプで吸い上げた水を特殊（とくしゅ）なノズルから噴（ふ）き上げて造る巨大な水のスクリーンに、映像や光を照らし出す技術です。会場は、宝塚大劇場裏の武庫川河川敷で、水でできたスクリーンの大きさは幅が20m、高さが約7mありました。「建物」に大きな映像を映し出す一般的なプロジェクションマッピングとは違って、「水幕（すいまく）」に光や映像を映し出すプロジェクションマッピングは、武庫川が流れる宝塚のまちならではのです。

上映した映像作品は、宝塚のまちの「誕生」から「現在」までの遷り変わり（うつりかわり）を追うものであったり、皆さんからも提案いただいた花火の要素を盛り込んだものであったり、合計3つの作品を、子どもから大人まで、たくさんのお客様に見ていただきました。

（観光企画課）



| 27  | グループ名 | THEすみれシャンメリー | テーマ | すみれシャンメリーを名産品にするには |
|---|-------|--------------|-----|--------------------|
| 質問・提案内容（あらまし）と答弁後の対応  |       |              |     |                    |
| <p>質問（提案）：</p> <p>すみれシャンメリーを創（つく）り出した宝塚商工会議所青年部、市役所、子ども委員会が協力し、キャンペーンのグッズを制作することを提案します。</p> <p>具体的には、「すみれシャンメリー」をまとめた本数購入すること、手塚治虫さんの作品に登場するキャラクター、例えばアトムや火の鳥、ブラックジャックなどのグッズ、またはそれらが当たるくじがもらえるようにすれば、グッズが欲しい、という気持ちから購入する人も増え結果的に知名度も上がっていくと思います。</p> <p>グッズはキーホルダーや食器など、普段使えるものやおしゃれなものにすることを提案します。</p>  |       |              |     |                    |
| <p>答弁：</p> <p>手塚治虫さんの作品に登場するサファイア姫をラベルに使った「宝塚すみれシャンメリー」に合せて、手塚治虫さんのキャラクターを使ったグッズをプレゼントするというアイデアは素晴らしいと思います。</p> <p>キャンペーングッズを制作して、おしゃれなものにすれば、お店で買えない珍（めず）らしいグッズを手に入れるために、「宝塚すみれシャンメリー」を購入して下さる方もきっと増えることと思います。</p> <p>しかし、この提案については、一つ大きな克服（こくふく）しなければならない問題があります。それは費用の問題です。手塚治虫さんの作品に登場するキャラクターを使ったグッズを作るためには、作品のキャラクターを使用するための著作権料（ちよさくけんりょう）や、見栄えよくしっかりしたものをつくる製作費、そしてこのキャンペーンを多くの人々に知ってもらえるよう広告費用も必要です。</p> <p>記念日や誕生日などに子どもと一緒に飲めるよう、シャンメリーをもっと多くの人に広めていきたいという思いは強いので、ご提案いただいたキャンペーングッズを制作できないか、宝塚商工会議所青年部の皆さんと相談していきます。</p> |       |              |     |                    |
| <p>その後の対応状況：</p> <p>「宝塚すみれシャンメリー」を購入してくださった方に、手塚治虫さんのキャラクターを使ったグッズをプレゼントするというアイデアは素晴らしいと思いますが、キャラクターの著作権料や製作費等費用の面での問題があり、グッズ製作には至っていません。</p> <p>現在、「宝塚すみれシャンメリー」は残念ながら製造・販売が休止となっていますが、販売再開の見通しがたてば、引き続き宝塚商工会議所青年部の方々と相談をしていきます。</p>   |       |              |     |                    |
| （商工勤労課）   |       |              |     |                    |

質問（提案）：

すみれシャンメリーを市内のイベントで販売することを提案します。

市内のイベント、それもアニメフェスタや宝塚音楽回廊（かいろう）などの大規模なイベントで販売すれば、市内の人だけではなく市外の人もお土産として買ってくれるのではないかと私たちは予想しています。

買ってもらう方法の一つとして、試飲があります。この方法だと、まず飲んでもらうことによって記憶に残すことができる上に、口コミやインターネットで話題になることによってさらに広まっていくことも期待できます。

また、お祭りなどではジュースなどの飲み物を購入したらその場で飲みきってしまうことがほとんどだと思います。なので、こちらも商工会議所青年部、市役所、子ども委員会が協力してピンの美しいすみれ色をそのままに飲みきれサイズにして販売することもいいと思います。

答弁：

「宝塚すみれシャンメリー」は、これまでも市内の各種イベントで販売をしており、お客さんにも大変喜んでいただいています。平成27年もサマーフェスタやアニメフェスタで販売したほか、大阪市のディアモール、伊丹市の大阪国際空港でも販売しました。

「宝塚すみれシャンメリー」を知らなかった方へは、丁寧(ていねい)に商品の説明をして、多くの方に知ってもらう機会にもなっています。

しかし、未だに知らない方もたくさんいるため、いかに多くのイベントで効果的に宣伝するかを考え、積極的に取り組んでいきたいと思えます。

中には、「どんな味？」と聞かれる方もあり、試飲(しいん)してもらえたらいいなと私たちも思っています。試飲していただくことは、商品を無料で提供することになるため、販売の度ごとに試飲してもらうことは難しいですが、初めて販売する場所などでは、試飲の提供を商工会議所青年部の方々と考えてみたいと思えます。

また、サイズを飲みきれサイズにして販売することについては、商工会議所青年部の方のご意見では、「宝塚すみれシャンメリー」はシャンパンのようにボン！と音がなることで、パーティーを盛り上げる商品としてアピールしたいので、2～3名で分けて飲むこのサイズで売っていききたいとのこと意向です。

その後の対応状況：

「宝塚すみれシャンメリー」は市内外の様々なイベントで販売をしています。これまでにサマーフェスタやアニメフェスタでも販売したことがあるほか、平成28年度には「JRA宝塚記念」や山口県萩市で開催された「フラワー都市交流連絡協議会」の際にも販売を行いました。

現在、「宝塚すみれシャンメリー」は残念ながら製造・販売が休止となっていますが、再開されましたら、宝塚の特産品として引き続きイベントでの販売・PRを行っていききたいと考えています。

また、サイズを飲みきれサイズにして販売することについては、答弁のとおりです。

(商工勤労課)

質問（提案）：

CMやチラシなど、その手段はたくさんあると思いますが、その中でも私たちは、宝塚の情報を発信するために市民に配布されている広報誌「たからづか」と「FM宝塚」、そしてSNSで宣伝することを提案します。

なぜなら、広報誌「たからづか」と「FM宝塚」はどちらも宝塚になじみが深い上地域に密着した情報を発信しているため、興味を持ってくれる人も多いと思うからです。また、ほかの団体では、ホームページ、ツイッターやフェイスブックなどのSNSを利用した宣伝を行っているところもあるようです。それら自体は地域との密着性が低いですが、興味を持ってくれる可能性が高いと考えました。

答弁：

「宝塚すみれシャンメリー」は宝塚市の名産品として定着しつつあります。モノ・コト・バ宝塚のホームページをはじめ、宝塚商工会議所青年部のフェイスブック、あいあいパークのブログなどでも紹介されています。また、先日からは、宝塚商工会議所青年部の方々の努力により、インターネットでの販売も始められ、楽天市場で購入できるようになりました。

このように宣伝に関しては、宝塚商工会議所青年部の皆さんも熱心に取り組まれている状況です。広報誌、FM宝塚での宣伝についても、実現させたいと思います。

また、市では本市の魅力(みりょく)ある名産品の一つとして「モノ・コト・バ宝塚」ガイドブックなどにも掲載(けいさい)しています。これからも、市民の皆さんになじみが深いところで、「宝塚すみれシャンメリー」を知っていただけるようにしていきます。

その後の対応状況：

「宝塚すみれシャンメリー」は宝塚の特産品として、宝塚ブランド「モノ・コト・バ宝塚」のホームページやガイドブック等で紹介されているほか、これまでに、宝塚商工会議所青年部のフェイスブックでも紹介されました。

現在は残念ながら販売が休止となっていますが、再開されましたら、広報誌やFM宝塚での宣伝も実現させたいと思います。

(商工勤労課)

|  |       |    |     |                |
|--|-------|----|-----|----------------|
| 27   | グループ名 | 秋夏 | テーマ | 活気のある宝塚にするためには |
| 質問・提案内容（あらし）と答弁後の対応  |       |    |     |                |
| <p>質問（提案）：</p> <p>ハロウィンのイベントを開催することを提案します。</p> <p>ハロウィンの日に手塚治虫さんのマンガにでてくるキャラクターの仮装（かそう）をして街を練（ね）り歩くツアーを行います。参加費500円で、受付でスタンプカード・ピンゴカードと交換します。仮装の衣装を持っていない人のために、衣装をレンタルしたり売ったりしたらいいと思います。仮装の衣装は買う時に中身が分からないようにして、ワクワクするようにします。街を練り歩き、ハロウィンに協力している店を探します。協力している店に「トリック・オア・トリート」と言ったらプレゼントがもらえます。</p> <p>その他にも、仮装したまま写真をとれる場所をつくったりします。手塚キャラの着ぐるみに仮装をさせて街で隠れます。見つけたらグッズをもらえるようにします。そのグッズは宝塚に係のある柄のバッジで、くじのように外からは見えないようにして一つとってもらいます。同じキャラクターから何度ももらうことの無いように、もらったらスタンプなどを押してわかるようにします。</p> <p>街を練り歩いた後に、ピンゴ大会を行います。当たると旅行券や特産品のプレゼントがもらえます。はずれてしまっても参加賞として宝塚のワッペンやバッジをプレゼントします。</p> <p>夏だと観光をしに来られない方も多いと思いますが秋になりどこかへ出掛けたいなぁと思っている方にも参加しやすい行事になれば良いと思います。</p> |       |    |     |                |
| <p>答弁：</p> <p>「アニメフェスタ」というイベントを知っていますか。このイベントは、手塚治虫さんが5歳から24歳まで過ごされた宝塚をアニメやマンガで盛り上げようということで始めたイベントです。コスプレファッションショーや漫画家（まんがが）が描（か）いた仏画展（ぶつがてん）など様々な内容で実施し大変好評です。</p> <p>ハロウィンの仮装とコスプレは非常に似ているので、アニメフェスタの一環（いっかん）として皆さんが考えてくれた様々なアイデアを実現できる可能性は高いと考えます。アニメフェスタをハロウィンに合わせて実施し、スタンプラリーなどを組み合わせることで、皆さんの提案を実現できるようにすすめていきます。</p>  |       |    |     |                |
| <p>その後の対応状況：</p> <p>皆さんが提案してくれたハロウィンのイベントとして、平成28年10月に「宝塚アニメフェスタ2016×ハロウィン」を開催しました。当日はイルミネーションとハロウィンバルーンにいろどられた花のみちや、飲食屋台が立ち並んだ宝塚ゆめ広場などを中心にたくさんのお客さんでにぎわいました。</p> <p>また、イベント会場周辺のソリオ宝塚や花のみちセルカのお店に協力してもらい、スタンプラリー抽選会も開催しました。皆さんが提案してくれたように、宝塚ならではの特産品も抽選会の賞品に取り入れました。</p> <p>仮装したお客さんもたくさん来てくれ、みんながハロウィンの楽しい気分を味わってくれたのではないかと思います。</p>   |       |    |     |                |
| （観光企画課）  |       |    |     |                |

質問（提案）：

流しイベントを開催することを提案します。

流しイベントは昼の部と夜の部があります。場所は宝塚大劇場前の武庫川の河川敷か市役所前の末広中央公園や武庫川の河川敷がいいと思います。

昼の部のそうめん流しの会場は、末広中央公園か、その近くの武庫川河川敷がいいと思います。その会場では、すみれシャンメリーの試飲コーナーなどがあればいいと思います。子どもには屋台で遊べたりする券を受付で配るなどするのもいいと思います。また、くじ引きをして景品をもらえるイベントなどをするのもいいと思います。

そして夜の部には灯ろう流しをします。流す灯ろうのサイズは、SからLまでで、500円前後の金額で買えます。買える灯ろうは、キットか、もう完成している物かを選べます。キットは、箱などの中に、説明書と材料セットが入っていて、自分で好きな絵を描いて組み立てられます。自分で作れない人のためには、作り方をわかりやすく教えてくれるボランティアの人が会場にいます。完成している物は、宝塚にまつわる柄にします。イベントの最後に、模造紙サイズの大きな灯ろうを流して、終わりの合図にします。

答弁：

まず、そうめん流しは、宝塚ならではの宝塚らしいという点にするために何か工夫できないか検討していきたいと考えます。実施に向けては、水の確保や衛生面（えいせいめん）についても考慮（こうりょ）しながら、実施場所の選定や他のイベントの実施時に取り入れられないかなど検討していきたいと思います。

次に灯ろう流しですが、かつて武庫川では、お盆の時期に灯ろう流しが行われていたことにちなみ、ボランティアの皆さんが中心となって「宝塚武庫川灯籠（とうろう）流し」が平成17年に復活しました。安全確保や廃棄物（はいきぶつ）の面での課題があり、現在は、灯ろうを流す形では続いていませんが、武庫川の中州（なかす）に描かれた「生」のイベントに合わせて、大人も子どももそれぞれの想いを灯ろうに書いて、武庫川河川敷（かせんじき）で心あたたまるろうそくの明かりを眺（なが）めて楽しむイベントとして今も継続されています。

きっと励（はげ）みになると思いますので、皆さんからの意見を主催されている実行委員会にお伝えし、市もできるだけのお手伝いをしていきたいと思います。

その後の対応状況：

答弁のとおりです。

（観光企画課）



担当部課：産業文化部（観光企画課）

| 27  | グループ名 | 子ども観光大使 | テーマ | 観光客を増やすためには |
|---|-------|---------|-----|-------------|
| 質問・提案内容（あらまし）と答弁後の対応  |       |         |     |             |
| 質問（提案）：<br>「るるぶ」に勝る内容のパンフレットを作ることを提案します。<br>内容は、ダリア、炭酸せんべい、なべちゃんねぎなどの特産物やその生産者のインタビュー、観光名所、歴史、イベントやそれぞれの行き方についてです。  |       |         |     |             |
| 答弁：<br>現在も宝塚の魅力(みりょく)を発信するために、「宝塚まちさんぽ」や「大人の宝塚」、「たからづか周遊物語」などのパンフレットを作成し、提案のあったダリアや炭酸せんべいや「なべちゃんねぎ」から新しい名前になった「たからづか西谷太ねぎ」など市特産品の紹介などをすでに行っています。今後、パンフレット作成時には、提案のあった生産者のインタビューも取り入れるなど、より身近で親しみやすいものにしたいと思います。<br>また、パンフレットも重要なのですが、スマートフォンやタブレットなどの電子機器を活用されている方も増えていますので、パンフレットと合わせて、ホームページやSNSの活用なども皆さんからいただいたアイデアを参考にしながら検討していきます。 |       |         |     |             |
| その後の対応状況：<br>現在も宝塚の魅力を発信するために、「宝塚まちさんぽ」や「大人の宝塚」などのパンフレットを配布しています。また、提案のあったダリアや炭酸せんべいのほか、「たからづか西谷太ねぎ」など市特産品を紹介する冊子もあります。さらに、宝塚の温泉を特集したパンフレットや、新しく開放された武田尾の廃線跡（はいせんあと）マップなどを今後作成し、さまざまな面から宝塚の魅力を発信していきます。<br>また、パンフレットも重要なのですが、スマートフォンやタブレットなどの電子機器を利用されている方も増えていますので、リニューアルする観光協会ホームページやSNSなども通じてより幅広い層への情報発信を図ります。                      |       |         |     |             |
| （観光企画課）   |       |         |     |             |

質問（提案）：

宝塚サマーフェスタとは別のお祭りを開催することを提案します。

名前は「宝塚夏の陣」。仮名ですが、こんな感じの名前がいいと思います。

具体的な内容は、露店を出すことや、渡し船をその日限定で復活させること、手持ち花火などです。

僕たちの考える露店の内容はみんなが楽しめる遊びや、大人から子供まで親しまれている食べ物です。例えば、子どもならわなげやたこせん、大人ならしゃてきやたこ焼きなどです。

次に渡し舟の内容です。江戸時代から大正時代までに武庫川の少し上流で今の末広公園から宝塚中学校の間にあった渡し舟をよみがえらせることです。祭りの日、限定でこの渡し舟を復活させます。5から6人乗りの木の船で舟頭（せんどう）がこいでわたります。このあたりでは、渡し舟があることを聞かず、めずらしいのでみんなが乗ってみたいとなるとおもうからです。

もう一つは、手持ち花火の内容です。例えば、広いエリアと時間を決めます。入口で花火を無料で1人5から10本配ります。花火はエリアの中で楽しく遊んでもらいます。

答弁：

夏休みの時期には、地域や商店街などで様々なお祭りが開かれ、また、市全体のお祭りとして2万人以上の市民が集まる宝塚サマーフェスタが開催されています。

宝塚サマーフェスタと別にお祭りを開催することは、たくさんのお金と人手が必要となるので、現在行っているサマーフェスタの中で内容を充実させる方向が良いと考えております。また、皆さんが一生懸命(いっしょうけんめい)考えてくれた大勢の人たちが来場されているイメージの「宝塚夏の陣(じん)」の名前は宝塚サマーフェスタのサブタイトルやアトラクションの内容で活用できないか、実行委員会の方々に相談したいと思います。

渡し船の復活は面白いアイデアですが、提案されている周辺の川を調べると、水深は10cm未満と浅い箇所(かしよ)や岩が水面から飛び出ているなど船を浮かべると底がひっきり進めなくなる可能性が高く危険なので、残念ながら実施することは困難だと思います。ただし、渡し船があった場所には石碑(せきひ)もあるので、その昔この場所が西宮街道(かいどう)の要所であったことを積極的にPRをしていきたいと思います。

また、手持ち花火に一齐(いっせい)に点火する光景は、和やかでとても綺麗(きれい)だと思います。しかし、大勢の方が、特に小さなお子さんも加わって点火する手持ち花火は、火傷(やけど)や事故の心配があるため、大きなイベントの中で実施することは難しいのではないかと考えています。

しかし、宝塚サマーフェスタでは、以前から、雪遊びや、ふわふわスライダーなどの子どもの遊び場コーナーや、スーパーボールすくい、ダーツゲーム、パターゴルフなどの遊びの露店(ろてん)、フランクフルト、フライドポテト、たこ焼きなどの食べ物の露店も出ています。次回以降の宝塚サマーフェスタでも、さらに楽しい露店や遊び場をつくれるよう実行委員会の皆さんと協力していきたいと思います。

その後の対応状況：

答弁のとおりです。

(観光企画課)

質問（提案）：

発車メロディーを導入することを提案します。

平成26年に阪急宝塚駅に発車メロディーが導入されました。そして、乗客が少し増えたように思います。そこで、宝塚市の阪急駅の全てに、発車メロディーをつけたら、観光客や乗客・鉄道ファンを、増やすことができるのではないかと考えたので、提案します。

導入する駅は、今津線の、仁川、小林、逆瀬川、宝塚南口です。宝塚線の、清荒神、売布神社、中山観音、山本、雲雀丘花屋敷です。

まず、今津線の仁川駅です。仁川駅の、発車メロディーは、草競馬です。理由は、競馬場が近くにあるからです。小林駅は、ふるさとです。理由は、住宅が密集していて、帰ってきたなと思わせるからです。逆瀬川駅は、宝塚市歌です。理由は、宝塚市役所の最寄駅だからです。宝塚南口駅は「リボンの騎士」です。理由は、手塚治虫記念館の最寄駅だからです。

次に宝塚線の、清荒神駅です。清荒神駅は、宝塚音頭です。理由は、だんじりを清荒神でやっているの、宝塚音頭のイメージだからです。売布神社駅は、七夕です。理由は、山の方で、星がきれいだからです。中山観音駅は、もみじです。理由は、中山が、もみじできれいだからです。山本駅は、山の音楽家です。駅名にも山とついているし、山本は、イメージが強いからです。雲雀丘花屋敷駅は、桜です。理由は、駅名に花がついているからです。

答弁：

近くでは、すでに大阪の環状線で各駅で異なる発車メロディーを導入していて、電車が駅に着くたびにどんなメロディーが流れるか楽しみにされている方も多いと聞きます。

阪急電車の宝塚駅でも歌劇(かげき)100周年にあわせて「すみれの花咲く頃」と「鉄腕アトム」のメロディを宝塚駅に導入されました。

阪急電鉄はお客様の安全を第一に考え、宝塚駅での導入に際して、半年以上前から試験放送や電車のドアの開閉や出発のタイミングについて相当の訓練を積まれたと聞いています。阪急電鉄としては、安全面や経営上のこともあると思いますので、阪急電鉄に皆さんの意見を届けたいと思います。

その後の対応状況：

答弁のとおりです。

(観光企画課)